

青森市小児慢性特定疾病児童等自立支援支援事業  
青森市小児慢性特定疾病児童等地域対策協議会の役割

# ふくろうガイドブックの作成にあたって



青森市保健所 野村 由美子

E mail adress:[yumiko-nomura@mtf.biglobe.ne.jp](mailto:yumiko-nomura@mtf.biglobe.ne.jp)



# 青森市の概要

- 平成18年10月1日中核市移行保健所設置  
(愛称：**元気プラザ**)
- 人口 278,964人 (2020年4月1日現在)
- 世帯数 136,457世帯 (2020年4月1日現在)
- 出生数 1,643人 (2018年)
- 出生率 6.0% (2018年)
- 高齢化率 30.51% (2019年4月1日現在)

## 2020年4月開設 母子健康包括支援センター 「あおり親子はぐくみプラザ」

- \* 「母子保健サービス」と「子育て支援サービス」の相談窓口の一体化・ワンストップ化。妊娠期から子育て期に至る迄、保健師、助産師、保育士、臨床心理士等の専門職チームが総合的に支援。
- \* 親子の遊び場、子育て相談の場として「プレールーム」を新設。



市の木  
あおりとどまつ



市の花  
はまなすの花



市の昆虫  
ホタル



市の鳥  
ふくろう<sub>2</sub>



## 青森市小児慢性特定疾病児童等地域対策協議会の役割

- 「慢性特定疾病を有し、様々な支障や心身に悩みを抱える児が、成人後に自立する事ができるよう地域の支援体制を確立して行く事を目指す。」 2014年度 設立
- 4つの役割
  - ①地域の現状と課題の把握 ②地域資源の把握 ③課題の明確化、
  - ④支援内容の検討
- 慢性疾患児の保護者へのアンケート2回：行政や支援者に希望すること、日常的な困りごと等。
- 保育園、幼稚園へアンケート：医療的ケアを必要とする児を受け入れているか？看護師を雇用しているか？（市幼稚園連合、保育園協議会からの御協力頂き）。

**小児慢性特定疾病児童等自立支援員・看護師による相談の報告(囑託職員の配置):窓口、家庭訪問での支援から。**

# 協議会構成員(関係機関)

青森市保健所  
保健所長

青森市保健所  
(あおもり親子はぐくみプラザ)  
小児慢性特定疾病児童等自立  
支援員

青森市  
子育て支援課

青森市保育連合会

教育委員会事務局  
指導課

青森市  
障がい者支援課

患者会

- ・青森ヤングの会青森ヤング  
スターズ
- ・一般社団法人全国心臓病の  
子どもを守る会 青森県

青森県医療ソーシャル  
ワーカー協会

公共職業安定所

青森市養護教諭会

青森県社会福祉士会



# 青森市の課題を明確化～**いっぱいあるがすぐに取り掛かりたい!**

- 就学前の医療的ケア児と家族の支援体制
- 現在ある地域資源や相談窓口の分かりにくさ。どこに相談？
- 子供の慢性疾患に対する地域の理解促進をするために
- 保護者の不安を軽減する支援が不足。心に届かない。



## 「家族と支援者をつなぐツール」

### ～”ふくろうガイドブック“ 内容の検討

- \* 医療的ケア児の支援のための連携促進、支援ネットワーク構築＝  
障害福祉部門、子育て支援部門、保健部門～今できる事＝  
相談窓口が判かりにくい～相談窓口のワンストップ化、どこへ  
行っても納得ゆく説明が受けれる様に、ガイドブックを利用。
- \* 家族目線で、使い易いように、判りやすいことば。
- \* 保健・医療・福祉・教育・就労等の情報が1冊で判る。

# ふくろうガイドブックの特色～その後も毎年更新

- どの時期・年齢にどの制度が利用できるか、mile stoneで示し判り易く記載。
- 1冊で、福祉・保健・医療に関わる人々が重宝する新たな情報を毎年更新。  
= 日常的に診察にあたる医師、看護師から「説明するのに大変便利、保護者の方もわかりやすいようだ」と大絶賛。
- 制度やサービス内容を毎年更新し情報提供。
- 手に取って、読む保護者が、元気が出る様に内容を充実（保護者の声や、感想を織り込んだり、小児慢性特定疾病児童等自立支援員の思い）。
- 新しい「患者会」の様子を取り入れる。
- 思わぬ災害時にも対応できるように、予めの準備ができるよう日々心がけておく情報を記載する。
- 地域の理解促進につながるために、様々な活動に、利用して頂く。

# 青森市の支援ネットワーク

(2019年～2020年協議会の取り組み内容)

## 慢性疾患や医療的ケアのあるお子さんとご家族の支援体制

### <青森市の支援ネットワーク>



令和2年4月に、妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援を行う「あおり親子はぐみプラザ」を元氣プラザに開設しました。【p.6】  
「母子保健サービス」と「子育て支援サービス」の相談窓口の一体化とワンストップ化を図り、妊娠期から子育て期に至るまで、保健師、助産師、保育士等の専門職がチームとなって、総合的に支援します。  
また、親子の遊び場や子育て相談の場として「プレイルーム」を新設しています。

#### あおり親子はぐみプラザ (元氣プラザ内)

- 母子保健サービス、お子さんの発達・発育、子育てに関する相談【p.6～7】
  - 小児慢性特定疾病児童等自立支援員による家庭訪問や相談支援【p.3】
  - 小児慢性特定疾病医療費助成【p.1～2・11～12】
  - 小児慢性特定疾病児童等日常生活用具給付事業【p.13】
- 担当課：あおり親子はぐみプラザ（元氣プラザ内）



#### 子育て支援

- 保育園等の利用、障がい児保育の相談【p.26～27】
- 担当課：子育て支援課



#### 病院・訪問看護ステーション

- 主治医、看護師、医療ソーシャルワーカーによるケア
- 訪問看護師等によるケア【p.17】
- 在宅移行時のケース支援会議の開催



#### 教育関係

- 教育支援に関わる相談
  - 就学時健康診断
- 担当課：青森市教育研修センター、学務課【p.27～31】



#### 就労支援関係

- 難病や障がいのあるかたの職業相談や職業紹介
  - 就業・生活支援
  - 職業訓練
- 就労支援の関係機関【p.32～33】



妊娠期

乳幼児期

学童期

成人期



#### 障がい福祉

- 障がい者手帳の制度【p.18】
  - 医療費助成、日常生活用具の給付等【p.13～14】
  - 障がい福祉サービスの利用（療育等）【p.19～25】
- 担当課：障がい者支援課



#### 相談支援事業所

- 福祉サービス利用のための相談
  - 支援計画の作成
  - 医療的ケア児の支援
- 相談支援事業所【p.22】



#### 患者・家族会

- 悩みの共有、共感できる仲間同士のサポート
  - 交流会、相談、講演会、勉強会など
- 各患者会【p.34～36】



【p.〇】…ふくろうガイドブック内の参照ページです。

慢性疾病や医療的ケアのある  
お子さんとご家族のためのご案内

# ふくろうガイドブック

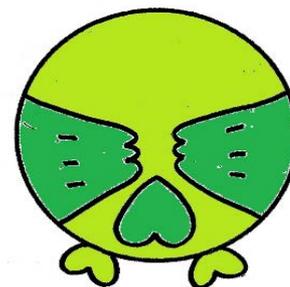
vol.3



お子さんの療養生活に役立つ、保健・医療・福祉のサービスや  
就園や就学、患者会などの情報をご案内します

青森市  
令和2年12月

## 切れ目のない支援で



## 全ての子に幸せを呼ぶ、 ラッキーバード

青森市

御清聴ありがとうございました